

## 抽 選 方 法 の 説 明

今回申込を受け付けた小笠原諸島復帰50周年記念千円銀貨幣ブルーフ貨幣セットについては、販売数を超える多数のお申込みがありましたので、次のとおり抽選を行います。

### 【申込状況及び販売数】

区 分	小笠原諸島復帰50周年記念 千円銀貨幣ブルーフ貨幣セット
申込数	330,101セット
販売数量	50,000セット
販売数	45,000セット
当選確率	13.6%

「販売数」は、販売数量から、海外販売用、展示用等を控除した、抽選対象となる数量を示す。

### 【抽選方法】

お申し込みいただきました全ての申込み(はがき及びオンラインショップでの申込み)に「1」から順番に受付番号を付します。なお、オンラインショップでの申込受付は、はがきでの申込みに付した最終の受付番号の次の番号から受付番号を付して整理しています。これらの受付番号1,000ごとを1ユニットとし、その順番をユニット番号とします。

最初に、申込みの下1桁の当選番号を決定します。

「0」～「9」の番号を付けた10個のボールを、中が見えないようにしてある箱の中に入れ、抽選者が、その箱の中から1個のボールを取り出す方法により行います。当選番号は、そのボールの番号を優先順位第1位とし、以下の優先順位は、その番号に順次1を加えた数とします。なお、この際、「9」の次は「0」とします。

次に、申込みの整理順による不公平をなくすため、抜き取りを開始するユニット番号を決定します。「0」から「3」までの番号を付けた4個のボールを入れた「百の桁」の箱、「0」から「9」までの番号を付けた10個のボールを入れた「十の桁」の箱及び「一の桁」の箱からボールを1個ずつ取り出す方法により行います。

により決定されたユニット番号から、で決定された当選番号の順に、受付番号の下1桁の番号が当選番号と一致する申込みを順次抜き取り、45,000番目までを当選とします。

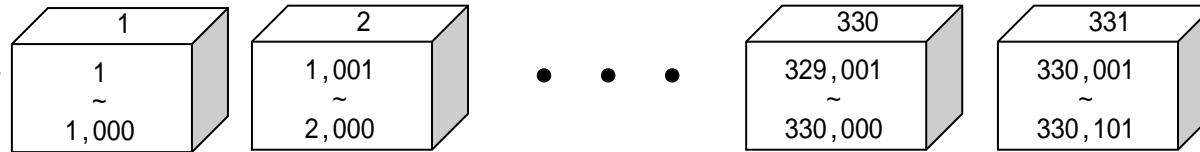
45,001番目以降の申込みは、キャンセル等が生じた場合の補欠とします。

## (参考) 抽出例

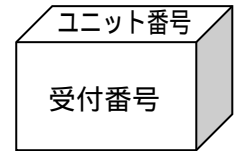
申込みに1から順に連番を振り、1,000ごとを1ユニットとします。

申込み

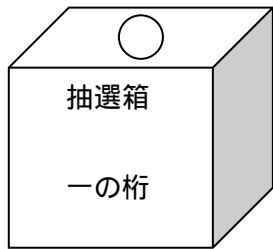
申込数 330,101  
 販売数 45,000セット  
 当選確率 13.6%



(凡例)  
 申込みの束(ユニット)  
 のイメージ図

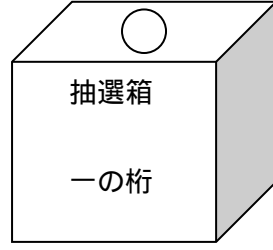
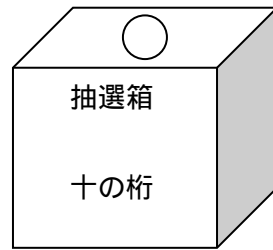
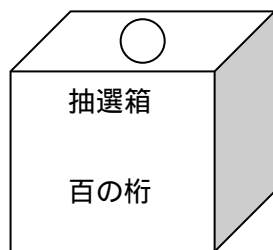


申込みの当選を決定するために、一の桁の抽選箱から1個、ボールを取り出します。

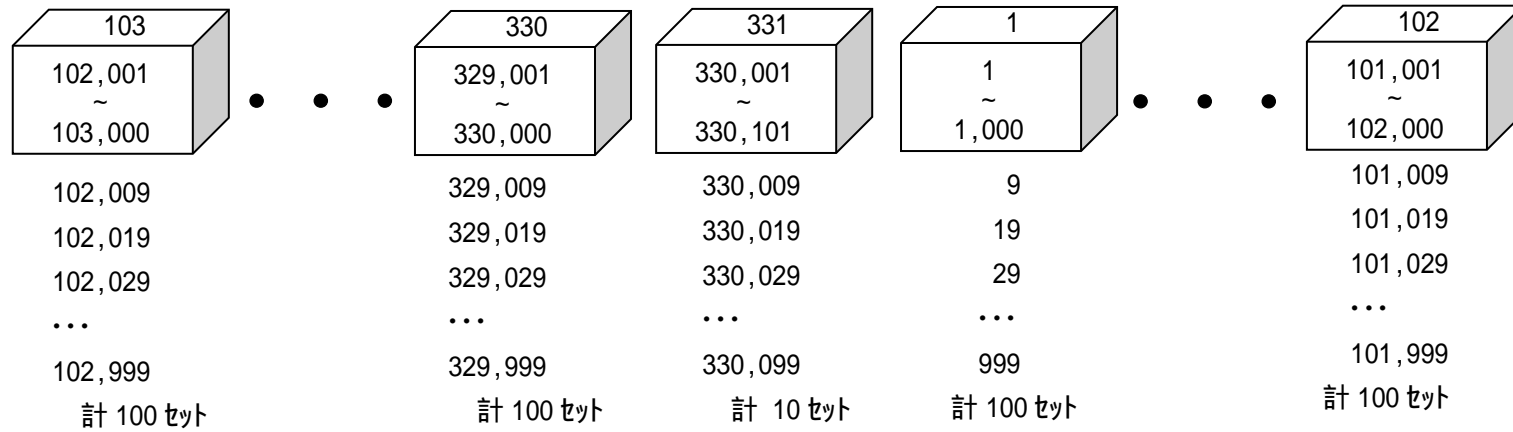


〔当選番号の優先順位：9、0、1、2、3、4、5、6、7、8〕

また、抽出を開始するユニット番号を決定するため、百の桁、十の桁、一の桁の抽選箱から各1個ボールを取り出します。

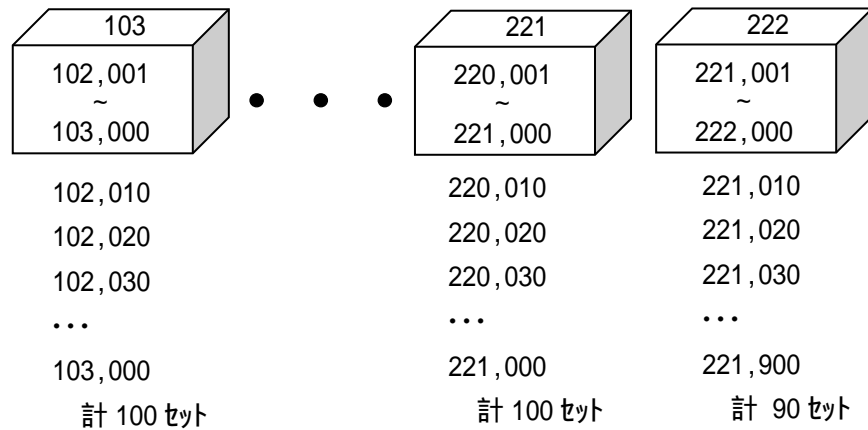


抽選されたボールの番号により、ユニット番号103番から、順次、下1桁9番の申込みを抜き取ります。



合計 33,010 セット

さらにユニット番号103番から、順次、販売数の45,000セットとなるまで、下1桁0番の申込みを抜き取ります。



合計 11,990 セット

累計 45,000 セット

ユニット番号222番の受付番号221,910番以降の申込みについては、キャンセル等が生じた場合の補欠となります。